

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	放課後児童対策事業（のびのびルーム）			事業番号	038-081
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	放課後子ども支援 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実
		有	取組の方向性	③学齢期・青少年期の子ども・若者と家庭への支援			
		寄与するKPI	有・無	指標名	放課後児童対策等事業にかかる待機児童数		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	目標値	0人(2025年度)
		有	現状値	2人(2020年度)		目標値	0人(2025年度)
		無	取組	—			
寄与するKPI	有・無	指標名	—				
無	現状値	—	目標値	—			
2	関連計画	■堺市子ども・子育て支援事業計画、堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン					
3	事業開始年度	平成 9 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■児童福祉法、堺市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、堺市放課後児童対策事業実施要綱					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■当該小学校区に在籍・在住の小学校1年生から6年生までの就労家庭等児童6,855名（令和3年5月1日現在）					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■本事業は、小学校に就学している留守家庭児童等の放課後における健全な育成、また児童が安全に過ごすことのできる環境を実現し、保護者が安心して就労できるようにすることで、子育てを支援することを目的に実施している。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	■実施校数：71校（令和2年4月時点） ■開設時間：月曜日～金曜日(放課後～午後6時30分)、土曜日・長期休業中（夏季休業中含む）(午前8時～午後6時30分)（利用時間延長制度利用者のみ、午後7時まで延長）					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	■負担金：月額8,000円（利用時間延長制度利用者は、時間延長一部負担金として、別途月額1,000円）（ともに減免制度あり）					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■（公財）堺市教育スポーツ振興事業団、（株）CLC、（株）明日葉					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	点検年度
11 待機児童数	人	目標値	0	0	0	0
		実績値	0	0		
		達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		放課後児童対策等事業における待機児童数を発生させないことを目標とし、子育て支援の充実を図るため。				
目標値の設定根拠・算出方法		待機児童を発生させないことを目標として、活動場所の確保等を行っている。				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
12 保護者アンケートの利用評価における「満足」「おおむね満足」の割合	%		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	100	100	100	
		実績値	90	92		
達成率	90%	92%				
当該指標を選定した理由		利用する保護者にとって放課後児童対策等事業の満足度を調査し、事業評価を行うため。				
目標値の設定根拠・算出方法		毎年度、放課後児童対策等事業の利用保護者向けに実施しているアンケートの利用満足度である。				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	放課後児童対策事業（のびのびルーム）	事業番号	038-081
-------	--------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

（単位：千円）

事業費 (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
13 財源内訳					
国支出金	253,012	278,395	451,649	564,812	438,750
府支出金	240,844	240,681	451,649	469,991	438,407
市債	0	0	0	0	0
その他（子ども教育ゆめ基金繰入金）	0	0	140,000	0	0
受益者負担金(使用料、手数料等)	530,395	517,837	538,872	388,692	567,446
一般財源	237,116	208,170	322,027	288,743	444,851
14 人件費 (b)	30,795	31,090	31,810	31,810	31,810
15 年間経費(c)=(a)+(b)	1,292,162	1,276,173	1,936,007	1,744,048	1,921,264

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	決算				R2	決算		
16	放課後児童対策事業（のびのびルーム）管理運営業務	R2	決算	1,627,214	280,498	小学校冷暖房機及び空調設備保守点検業務	R2	決算	1,816	668
		R3	予算	1,872,701	435,087		R3	予算	3,023	1,009
	放課後児童対策事業（のびのびルーム）管理運営業務【コロナ対応】	R2	決算	63,726	0	手数料（枠）	R2	決算	1,342	890
		R3	予算	0	0		R3	予算	2,576	1,754
	消耗品費【コロナ対応】	R2	決算	7,103	0	その他使用料及び賃借料（枠）	R2	決算	1,129	377
		R3	予算	1,023	0		R3	予算	660	320
	その他備品購入費（枠）	R2	決算	4,711	1,575	消耗品費（枠）	R2	決算	821	821
		R3	予算	3,760	1,254		R3	予算	1,248	1,248
	通信運搬費（枠）	R2	決算	2,482	2,482	その他	R2	決算	1,894	1,432
		R3	予算	2,665	2,665		R3	予算	1,798	1,514

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
		① 利用児童数	人
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,276,173	1,744,048
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	167,851	230,450
備考（算出についての説明等）	—		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<ul style="list-style-type: none"> ■ R2年度における委託費の大部分は指導員の人件費として運用した。 ■ 施設等については学校内に専用教室を設け、事業の実施を行うことで施設使用料等の費用を抑えることができている。 ■ 放課後における児童の健全な育成のため、また、就労家庭における児童の安心・安全な居場所づくりのためには、今後も本事業の継続が必要である。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<ul style="list-style-type: none"> ■ 待機児童数0人の実現について <ul style="list-style-type: none"> ・専用教室のほか学校協力のもと共用教室の確保に努め、学校施設の有効活用を行うことで、希望者のすべてが利用可能となり、保護者の就労支援を行うことができた。 ■ 利用評価について <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は全事業の全利用者を対象としたアンケートの実施により、広く利用者の意見等を得ることで、運営事業者に対し各ルームの状況に応じた助言・指導を行うことができた。
----	---